あなたも「すみだ博士」になろう！
すみだクイズに挑戦

東京スカイツリー®が開業し、多くの観光客がすみだを訪れるようになりました。訪れた方に、「素敵なまちだ」、「また来たい」と思っていただくためには、「すみだで心地良く過ごしてもらいたい」といった区民の皆さんの〝おもてなしの心〟が大切です。そして、すみだの魅力を自信を持って紹介できるよう、〝物知り〟になることも必要です。

そこで、皆さんにすみだのことをもっとよく知っていただくため、誰かに紹介したくなるような、誰かとまち歩きしたくなるようなスポットなどを、クイズ形式でご紹介します。ぜひ、全問正解をめざしてクイズに挑戦し、「すみだ博士」として、訪れた方を〝おもてなしの心〟でお迎えしましょう。

[問合せ]広報広聴担当 ☎5608－6223

〝すみだのものづくり〟の素晴らしさを発信する「すみだ3M運動」の〝3M〟は、「すみだマイスター」(Meister)、「工房ショップ」(Manufacturing Shop)、あと1つは何でしょう？
①モダンな商品(Modern)
②小さな博物館(Museum)
③ものづくりマガジン(Magazine)

◀小さな博物館「指物博物館」

▼工房ショップ「硝子企画舎」

答えは、**「②小さな博物館」**(Museum)です。

「小さな博物館」は、すみだの地場産業などに関する製品・道具・文献等のコレクションを展示している博物館です。

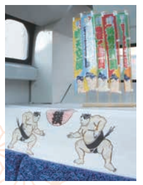
「すみだマイスター」は、すみだを代表する付加価値の高い製品を作る技術を持ち、その技術を普及し、次代の育成に努めている職人です。また、「工房ショップ」は、製造現場である工場・工房と、製造した品物を販売する店舗が一体となっているお店です。

回向院(両国2－8－10)にある鼠小僧 次郎吉の墓石は削ってお守りにすることができます。どのような御利益があるでしょう？

長年捕まらなかった盗賊・鼠小僧次郎吉にあやかり、**「強運を授かる」、「願い事が叶う」、「金回りが良くなる」**などといわれています。また、「するりとすり抜ける」ということで受験生が**合格祈願**に訪れることもあります。

なお、区登録有形民俗文化財である墓の前に置かれている、削り取り専用の墓石は、小さくなる度に建て替えられているそうです。

区内循環バスのうち、南部ルートの1台だけ、特別な車内装飾が施されています。そのバスの名称は何でしょう？
①どすこい号　②横綱号　③大相撲号



答えは、**「③大相撲号」**です。

区内循環バス「すみだ百景 すみまるくん・すみりんちゃん」のうち、両国エリアや錦糸町エリアなどを巡る南部ルートの1台だけ、力士の手形やサイン、手拭いなど、相撲にまつわる品々が車内に飾られている車両が運行されています。

また、南部ルートの車体の屋根などには、勝海舟像や本所松坂町公園等、南部地域の特色を表すマークが描かれています。

長い滑り台が名物となっている京島南公園(京島2－20－17)の愛称は何でしょう？
①ゾウさん公園　②富士山公園　③マンモス公園

答えは、**「③マンモス公園」**です。

園内にそびえ立つ〝マンモス級〟の滑り台が愛称の由来となっており、長さ約12mもの斜面を実際に滑ってみると、迫力あるスピードを体感することができます。また、園内には通常サイズの滑り台や、ブランコ、ジャングルジムなどもあります。

広告 テレビ・ネット・電話もケーブルで。ご相談は地元のJ:COMすみだ まで ☎0120-999-000（9:00～21:00）

わずか1分間で「七福神めぐり」を楽しむことができるスポットはどこでしょう？
①立花大正民家園 旧小山家住宅　②向島百花園
③旧安田庭園

答えは、**「①立花大正民家園 旧小山家住宅」**(立花6－13－17)です。

庭園には、七福神の石像が配置されており、わずか1分間で「七福神めぐり」を楽しむことができます。

江戸時代の農家と町家の特徴をあわせ持つ住宅部分は、区指定有形文化財です。また、正面に玄関と大戸口の二つが設けられている点や、廊下の両端に押し入れとお手洗いが配されている点などに、周辺地域の民家の特徴も表れています。

[見学時間]▶庭園部分＝午前9時半～午後4時半　▶住宅部分＝午後0時半～4時半　＊住宅部分は有料利用可(見学は有料利用がないときのみ)**[休園日]**年末年始**[見学料]**無料**[申込み]**当日直接会場へ

東京スカイツリータウン®内の商業施設「東京ソラマチ®」にオープンした、すみだの魅力を発信する施設「産業観光プラザ すみだ まち処」のロゴマークにデザインされている文字は何でしょう？

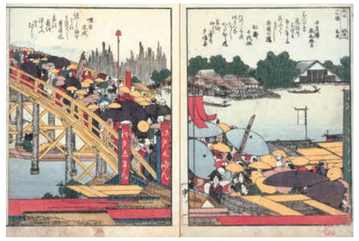
答えは、ひらがなの**「す」**、カタカナの**「ミ」**、漢字の**「田」**、つまり**「すみだ」**です。

「産業観光プラザ すみだ まち処」は、すみだのまちを実際に歩いてみたくなるような情報を一度に入手できるほか、〝ものづくりのまち すみだ〟を象徴する伝統工芸の実演や製品の展示・即売などを通じて、すみだの魅力を体験・体感できる、粋な〝新名所〟です。施設内の展示物には、有名人が隠れているジオラマ(小型模型)や、区内で一番高い場所である東京スカイツリーの避雷針の実物大模型など、見所がたくさんあります。

[開館時間]午前10時～午後9時　＊1月1日(祝)は午前9時半～午後6時、1月2日(水)・3日(木)は午前10時～午後8時　＊年中無休**[入館料]**無料

葛飾北斎の次の作品は、本所松坂町公園・隅田川神社・両国地域を描いたものです。どの作品がどの場所を描いたものでしょう？

この作品は、かつて樹木が生い茂っていたことから〝水神の森〟とも称された、現在の**隅田川神社**(堤通2－17－1)辺りを描いた「勝景雪月花 東都隅田の月」です。人家もまばらで寂しげに描かれていますが、風流を好む人々が訪れる風雅な土地でもあったようです。



この作品は、納涼の人出で賑わう**両国橋**を力強く描いた『絵本隅田川両岸一覧』の「両国納涼　一の橋弁天」です。中央奥の橋が、一ツ目の橋とも呼ばれた現在の**一之橋**で、近くの森が、一の橋弁天(現在の**江島杉山神社**、千歳1－8－2)です。

この作品は、赤穂事件を題材とした浄瑠璃や歌舞伎の演目「仮名手本忠臣蔵」の大詰め、吉良邸(現在の**本所松坂町公園**、両国3－13－9)への赤穂浪士討ち入りの場面を描いた「新板浮絵忠臣蔵第十一段目」です。浮絵と呼ばれる西洋の透視画法を取り入れた様式で描かれており、軒先や建物のラインが奥行きを感じさせます。

あなたは「すみだ博士」になれたかな？

7問～6問正解
おめでとうございます！あなたを「すみだ博士」に認定します。早速まちに出て、訪れた方を〝おもてなしの心〟でお迎えしましょう。

5問～3問正解
惜しい！今年一年、まち歩きを楽しんだり、自分なりの〝すみだ豆知識〟を発見したりして、もっとすみだの魅力を堪能しましょう。

2問～0問正解
残念！まずは、クイズに関係するスポットを巡り、すみだを知ることから始めてみませんか。きっと、素敵な発見ができるでしょう。

広告 手打蕎麦のみつまさ寄席 ¥2,500 16日(水) pm6：00金時 ゲストは市弥 お土産いっぱい ☎3631-0294 次回一蔵